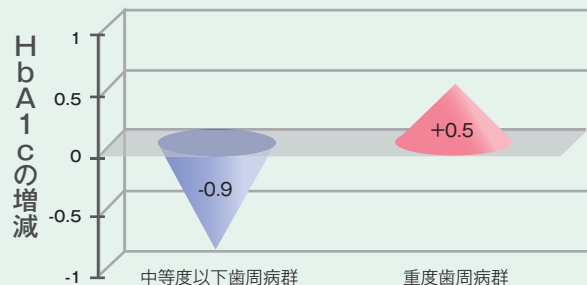




種々の研究機関で歯周病と糖尿病の関係が報告されています

歯周病放置でHbA1c悪化!

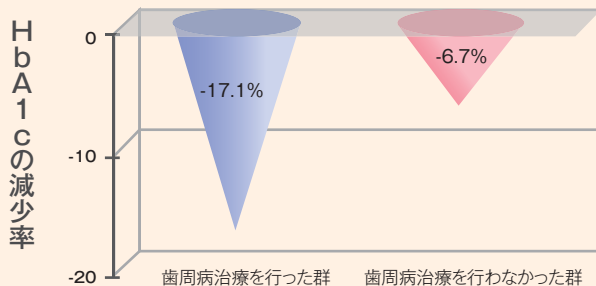
2型糖尿病患者を、重度歯周病と中等度以下歯周病との2群に分けて、2もしくは3年後のHbA1cの値の変化について調べた。その結果、中等度以下歯周病の人はHbA1cが低下したのに対し、重度の歯周病の人では放置するとHbA1cが増加し、血糖コントロールが悪化することがわかった。



歯周病の進行度とHbA1cの変化
(Collin et al. J Periodontol ; 69 : 962-966, 1998 より引用)

歯周治療で血糖コントロール向上!

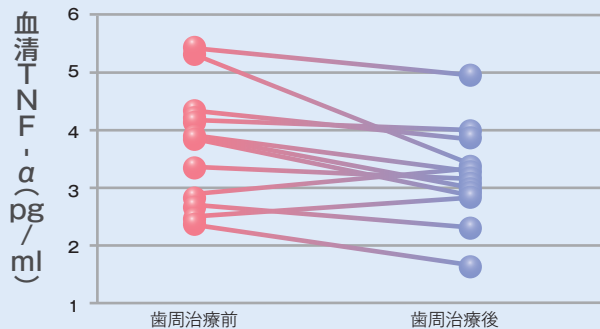
2型糖尿病患者を、歯周病治療を行った群と、行わなかった群に分け、血糖値コントロールの状態について調べると、歯周病治療を行った群の方がHbA1cが大きく減少し、歯周病治療により糖尿病の治療効果が上がることを示した。



歯周病治療の実施によるHbA1cの変化
(Stewart et al. J Clin Periodontol ; 28 : 306-310, 2001 より引用)

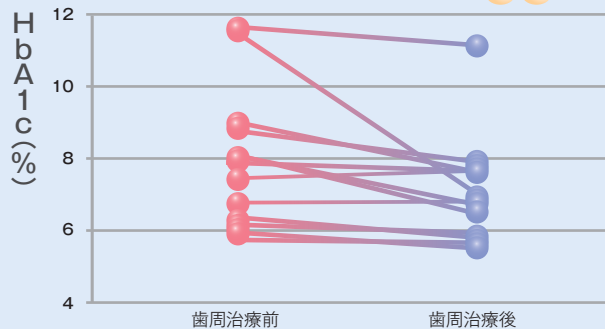
歯周病治療でTNF-αもHbA1cも低下!

2型糖尿病患者(13名)に対して歯周治療を1ヶ月実施し、治療前後でポケット内の細菌数、血中TNF-α、HbA1cを比較した。その結果、いずれも治療後に有意に低下した。これは、歯周治療によってポケット内の細菌が減少し、歯周組織の炎症が改善された結果、TNF-αの放出が抑制され、その結果インスリン抵抗性改善によりHbA1cが改善されたことを示している。



歯周治療前後におけるTNF-αの変化

(Iwamoto Y et al. J Periodontol. 72 : 774-8, 2001 より引用)



歯周治療前後におけるHbA1cの変化

えっ!! HbA1cと歯周病って 関係があるってホント?



このような症状ありませんか?
—糖尿病の方に見られる口の中の異常—

- 口の中が乾燥しやすい
- 粘膜の灼熱感、充血、平滑舌
- むし歯
(若年は広範囲になりやすいため特に注意)
- 歯周病
(糖尿病は炎症が治りにくい)
- 傷が治りにくい
- 甘い匂い